

## 園内の自然を活用したプログラム等と今後の課題

鈴木 義明  
(よこはま動物園)

これまで横浜の3動物園で行った園内の自然を活用したプログラムをまとめ、今後の活動への課題提供をする。

小学校や中学校と連携し、園内の生物観察を行った活動や、近隣図書館で昆虫講座を開催した。また、既存の昆虫関係イベントを統合し、昆虫や植物との関わりなど、園内の自然を紹介し、プログラムも新設した。

いずれの企画でも事前の下見や年間を通した生物調査を行う必要がある。各園で鳥類、両生類、昆虫類等の生息調査や自然観察イベント等を行っているが、個人、有志で行っていることも多く、職員の異動により終了してしまうことがある。

動物園には多くの自然が残されており、環境保全、教育啓発活動を行えるポテンシャルがあるが、継続的な活動は出来ていない。

これらを継続的に実施していくためには、業務として行うことが望ましく、横浜市や神奈川県、市内3動物園とも連携して生物調査を行い、情報共有をして、調査結果を元にした教育啓発活動を行っていく必要がある。